

第8回滋野地区地域づくり推進検討会議 会議録

開催日時：平成 24 年 7 月 18 日（水）

午後 7 時から午後 9 時まで

場 所：片羽公民館

出席者：○

J A 信州うえだ滋野店店長	宮下 清行	○	赤岩区長	入口 和義	○
滋野地区活性化研究委員会会長	吉田 周平	○	片羽区長	荻原 薫	○
滋野地区活性化研究委員会副会長	唐澤 孝夫	○	桜井区長	寺島 義昭	
滋野地区活性化研究委員会副会長	柳澤 幸徳	○	大石区長	土屋 建治	○
滋野地区活性化研究委員会副会長	関 勝人	○	滋野地区区長会長（中屋敷区長）	唐澤 孝夫	△
滋野地区活性化研究委員会部会長	丸山 克寿		別府区長	小川原 雅	○
滋野地区活性化研究委員会部会長	高藤 征紀	○	原口区長	若林 朝登	○
滋野地区活性化研究委員会部会長	斉藤 紀正	○	聖区長	若林 敏雄	
生涯学習まちづくり滋野地区推進委員長 滋野地区活性化研究委員会部会長	麻見 明利	○	乙女平区長	日下部 安秀	○
交通安全協会滋野支会長	花岡 種男		王子平区長	小林 吉則	○
商工会滋野支会長	市川 貴		滋野地区社会教育指導員	土屋 裕司	○
滋野地区青少年育成協議会会長	後藤 富美男		出席者計 21名/34名		
滋野小学校PTA会長	尾沢 治夫		委員参加率 61.8%		
滋野小学校PTA副会長	土屋 茂一	○	地域づくりアドバイザー 長野大学	山崎 隆之	○
滋野地区分館長会長	高橋 晴信	○	地域づくりアドバイザー 長野大学	河野 良治	○
道の駅駅長	唐澤 光章	○	事務局 企画課長	寺島 尊	
中学校PTA支部長会長	小宮山 美穂		事務局 企画政策係長	小菅 武志	○
保健補導員会滋野地区会長	寺島 暁美	○	事務局 企画課主査	掛川 一郎	○
民生・児童委員会滋野地区会長	関 茂	○			
高齢者クラブ地区会長	掛川 恒雄				
消防団第2分団分団長	清水 隆晴				
消防団第2分団副分団長	長岡 利哉				
滋野保育園保護者会長	馬場 真美				
東保育園保護者会長	田村 美絵				

1. あいさつ要旨（小菅補佐）

- ・ 8回目の会議となりますが、今回の会合では、前回の会合で決定された「子どもと高齢者のふれあい」の場づくりについてイベント原案が提案される運びとなっています。
- ・ また過日設置、開催されました「組織づくり小委員会」における話し合いの経緯をご報告いただくことになっています。
- ・ これら提案について、この推進会議お一人お一人のご意見を伺いながら取り組みを進めて参りたい

と思います。宜しくお願い致します。

事項・発言者	発言内容
山崎アドバイザー ー	<p>まず、前回までの話し合い経過を整理させていただきます。</p> <p>この推進会議では、本年度2つの取り組みを進めることが決定されています。</p> <p>一つは、「新たな滋野地区における組織づくり」であります。これは、いくつかダブっている既存の組織を統合していこうとする取り組みです。</p> <p>もう一つは、地域づくりにむけ、現在、活性化委員会が取り組んでいる内容には限界があるため、この推進会議がサポートし、地区全体での取り組みとして描いていこうとするものです。具体的には、現在、活性化研究委員会・第4部会が進めている“子供向けのイベント”について本会が関わって、(既存組織の垣根を取り払い、多くの地域の皆さんの協力・参加を得ていくなかで)地区全体のイベントとして開催していこうとするものです。</p> <p>以上を、再度確認いただいたうえ、会議を進行させていただきます。</p>
吉田 委員長 (小委員会)	<p>組織づくり検討小委員会の検討経過について報告をいただきます。</p> <p>7月11日にコミュニティーセンターにおいて、7名(委員10名)の出席を得て初会合を行いました。</p> <p>会議では、活性化委員会、生涯学習まちづくり協議会、それぞれの組織形態や活動内容、さらには会計規模等を説明しあって、互いに共通している部分は何か、無駄なところは無いのか等、様々に議論をいただきました。</p> <p>かなり踏み込んだ、積極的な話し合いをいただく中で、二つの組織は一つにしていくことができそうだという共通の認識をもったところです。</p> <p>話し合いの具体的な内容を申し上げますと、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習まちづくり協議会に位置づけられている「育成会」活動にあっては、活性化委員会の第4部会(子ども部会)と一緒にある。 ・生涯学習まちづくり協議会における中心的な生涯学習活動についても、活性化委員会の部会、例えば第5部会に位置づけることが可能である。 <p>といった議論であります。</p> <p>また、「生涯学習まちづくり東御21運動」にも議論がおよび、これは通常の行政区活動そのものであり、敢えて生涯学習活動の一環として取り組むべき内容では無いという認識も持ったところです。以上が、初回の会合経過であります。</p> <p>今後は、具体的な事項について話し合いを進め、一つの組織にしていくことで一致しました。</p>
土屋 指導員	<p>(小委員会の検討経過については) おっしゃるとおりで相違ありません。</p>
山崎アドバイザー ー	<p>ありがとうございました。</p> <p>組織検討委員会では、活性化委員会を母体にしながら、生涯学習まちづくり協議会</p>

	<p>の活動をうまく吸収していくこと、また、協議会本来の生涯学習活動については新たな部会を創設し一本化を目指していくこと、などが検討されたようです。</p> <p>皆さんから、ご質問はありますか。</p>
<p>土屋 指導員</p>	<p>先程“生涯学習まちづくり東御21運動”の話がありましたが、この活動につきましては、常日頃の行政区活動であることはもちろんのこと、例えば、クリーンリサイクル運動、農業振興運動についても、すでに活性化委員会の環境部会、地域産業の振興部会で取り組まれている内容でありました。</p> <p>活性化委員会の活動の説明をお聞きする中で、ダブって行う必要性は無いのではないか、という印象を強く持ったところです。</p>
<p>小菅補佐</p>	<p>※参考までに「生涯学習まちづくり東御21運動」の概要説明</p>
<p>委員</p>	<p>小委員会は始まったばかりですから、特に意見はございません。今後の議論の過程では様々な問題があると思いますので、その都度協議をお願いします。</p> <p>(全委員 賛同)</p>
<p>山崎アドバイザー</p>	<p>それでは議題3(1)に移ります。推進会議では子供向けのイベントを進めることになっていますが、それら活動に対する交付金受入れに関して、この組織の代表者をお決めいただく必要がございます。その選出を議題と致します。</p> <p>前々回の会議では、このイベントの企画提案が活性化委員会から発案された経緯から、活性化研究委員会の吉田会長に、この推進会議においても会長をお引き受けいただきたい旨の話があったかと思いますが、皆さん如何でしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>小委員会で会長に吉田さん、副会長に唐澤さんが選出されていますから、この推進会議の代表もその方々をお願いしたほうがいいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>活性化委員会の例をとると、一つの取り組みが完了するまでの間は、会長の交代をせずに取り組んでいただいた経緯もあります。</p> <p>この推進会議も、滋野地区を代表する新たな組織を築き上げようという、大きな取り組みに向け継続している訳ですから、今報告のあった小委員会の代表者を長に選出していくことがいいと考えます。</p>
<p>河野アドバイザー</p>	<p>今のご提案を、ここで確認させていただいても宜しいでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>小委員会はそうでいいと思いますが、推進会議全体の代表となると、いささか荷が重く困難であろうと思いますが…。</p>

委員	<p>30人の推進会議も10人の小委員会も同じことではないでしょうか。御苦労でも小委員会と推進会議を、同じ方が携わり、束ねていただきたいと思います。</p>
山崎アドバイザー	<p>確かに小委員会と推進会議では同じように進んでいます。しかし多少ニュアンスが違ってきます。小委員会はこの推進会議のメンバー以外の皆さんも参集して組織づくりの原案を検討する組織であり、また特段お金を必要とするものではないです。</p> <p>一方の、この推進会議は、子どもと高齢者のふれあいをテーマとしたイベントを企画し、交付金を活用して実践していくことを計画しています。</p> <p>そのあたりも考慮して、あまり負担にならないよう選出いただくことも必要があるかと思えます。</p>
委員	<p>(この推進会議は、新たな組織づくりまでの間の、あくまでも暫定的な会議であるので、動きやすくする必要があります。) 多少負担もあろうかと思いますが、小委員会の吉田さんと唐澤さんをお願いしたいと思えます。</p>
委員	<p>交付金の管理に関しては、JAの宮下さんもいらっしゃいますから、(負担が無いよう役割を分散して) 会計としてお願いするのがいいと思えます。</p> <p>(賛成意見多数)</p>
山崎アドバイザー	<p>それでは、まとめさせていただきます。今ご提案のあった内容で、本会の会長に吉田さん、副会長に唐澤さん、会計に宮下さんをお願いし、皆の総意とすることで宜しいですか。</p> <p>(全委員賛成 拍手 → 吉田さん、唐澤さん、宮下さん了承)</p> <p>(同時に、会のネーミングも「滋野地区地域づくり推進会議」と決定)</p>
山崎アドバイザー	<p>それでは、議題3(2)に移ります。本年度、この推進会議で取り組みを計画している「高齢者とこどものふれあい」イベントについて、活性化委員会から計画案を提案いただきます。</p>
吉田会長	<p>9月29日(土)に“ふれあい子ども塾”というネーミングで実施するよう計画させていただきました。</p> <p>高齢者と子どものふれあいをテーマに、子どもたちへ残していきたい地域の遊び、地域の食べ物など、皆が一緒になって作り、楽しむことを計画しています。</p> <p>また、環境問題を考える中で、子どもたちへの自然エネルギー教育として、ソーラーカーを組み立て、走らせてみることもやってみたいと考えています。</p> <p>詳細は別紙資料に基づき、齊藤委員(活性化第4部会長)が説明します。</p>

齊藤委員	(別紙 資料に基づき、原案説明)
山崎アドバイザー	<p>今、説明いただきましたが、イメージとしては、各遊びのコーナーに滋野地区の達人(昔遊びの経験者)が張り付いて、その各遊びのコーナーへ各10人ぐらいのグループの子どもたちが参加し、それぞれのミッションをクリアしながら、次のコーナー次のコーナーへとロールプレイしていく、という趣向であります。</p> <p>さらに遊びのコーナーばかりでなく、うす焼きづくりや、すいとんづくりもミッションの一つになっているという説明でありました。</p> <p>皆さんから、ご意見をいただきたいと思います。</p>
齊藤委員 (企画者)	<p>この度の計画において、1点相談があります。この度の企画は“子どもと高齢者”のふれあいを目的としています。高齢者の参加をどう呼び掛けていくかが課題となっています。何かよい提案をいただけないでしょうか。</p>
委員	<p>このチラシへ“おじいちゃん、おばあちゃんと一緒にご参加ください”としては如何か。そうすることで多くの高齢者の参加が得られるし、高齢者が子どもの“講師先生”になり得ることもできるのではないかと。</p> <p>(全員異議なし)</p>
委員	<p>人数制限があることについては如何なものか。滋野小学校は300人もいて、高学年だって少なく見積もって150人はいると思われる。これでは参加する児童にためらいが生じてしまう。</p>
委員	<p>高学年のみに限定することも問題があると思います。実際は兄弟もいるので、低学年の弟は参加できないというのは問題になるのではないのでしょうか。</p> <p>火を使うから危険という配慮もあると思いますが、それはやらせないとすれば、低学年も参加できるのではないのでしょうか。</p>
委員	<p>“ふれあいの集い”では例年こどもが100人から150人参加しています。それを考えると、人数制限があっては効果が期待できなくなると思います。</p>
山崎アドバイザー	<p>今、提案された人数制限の問題は皆さん如何ですか。制限しないということで良いですか。</p> <p>(全委員異議なし)</p>
委員	<p>子どもたちが増えた場合、進行に支障となってくるのでしょうか。</p>

委員	<p>(子どもが多ければ) イベント開催時間の「時間割表」を作って分散させてもいいのではないのでしょうか。</p>
斉藤委員	<p>時間を区切ってイベントを行う点については、(それぞれの持ち場では延々と同じことを繰り返し、子どもたちを待っているといった趣向ですから) 困難があると思います。いずれにしても、参加人員が多くなるとスムーズな進行も考えねばなりませんので、問題はいろいろあるかと思いますが、いろんなことを想定したシミュレーションも必要であろうと思います。</p>
山崎アドバイザー	<p>子どもたちが大勢来場した時はどうするのかといったことも含め、次回会議では、実際のイベント会場で様々にシミュレーションしてみたいと考えます。</p> <p>皆さん如何でしょうか。また、低学年の参加についても意見がありました、その点も如何でしょうか。</p>
意見	<p>低学年とはいえ、おじいちゃんやおばあちゃんが一緒なので問題ないのではないかと。低学年でも参加できる工程はあると思います。</p>
意見	<p>低学年は保護者同伴としたほうが良いと思います。そのほうがたくさんの皆さんが見えられると思います。</p> <p>(会場でのシミュレーションも含め、低学年の参加についても全員賛成)</p>
山崎アドバイザー	<p>「うす焼き」や「すいとんづくり」なども、調理器具の手配や出来上がるまでの時間が問題になってくると思います。調理室にたくさん子どもたちが来たら大変なことになってしまうことも予想されます。実際に作ってみることも必要であると思います。それでは、次回の会議では、ご意見のあった内容も踏まえ、いろいろシミュレーションをしてみるということにしましょう。</p> <p>次回の会議をいつにしましょうか。</p> <p>8月22日(水)は会場がとれるようですが如何ですか。</p> <p>(全委員 異議なし)</p>
吉田 会長	<p>最後に一言お願いします。この“こどもふれあい塾”は、新たな滋野地区の組織が形づくられた中でも実践していきたい、という思いをもっています。</p> <p>そんな中で、(現在活性化委員会で検討している子どもたちへの取り組みとして)「通学合宿」ということも考えていきたいと思っています。</p> <p>(今まで、活性化研究委員会だけで考え、進めてきた内容が) 新たな一つの組織ができることによって、“地域全体で子どもたちのことを考える場”になっていきますか</p>

山崎アドバイザー	<p>ら、“子どもふれあい塾”を通じて、(滋野地区の子どもを取り巻く問題などを改善するため) いろんなことに取り組んでいきたいと思っています。皆さんも、いい意見がございましたら、ご提案いただきたいと思います。</p> <p>(全委員 賛同)</p> <p>また、交付金の使い道について、恐らくこの一回のイベントでは使いきれないと思います。この後、この推進会議が取り組むべき内容・課題についても、皆さんから(案)をお出しただけたらと思います。</p> <p>それでは本日の会議は終了とします。お疲れ様でした。</p> <p>※ 次回会合からは、吉田会長が会議を招集し、座長となって会議を進行していくことを確認する。</p>
----------	--

<参考>

組織づくり検討委員会名簿

選出区分	氏名	備考
滋野地区区長会長	唐澤 孝夫	○副委員長
滋野地区分館長会長	高橋 晴信	
滋野地区青少年育成協議会会長	後藤 富美男	
滋野地区活性化研究委員会会長	吉田 周平	◎委員長
民生・児童委員会滋野地区会長	関 茂	
滋野小学校 PTA 会長	尾沢 治夫	
道の駅駅長	唐澤 光章	識見を有する者
滋野地区市議会議員	山崎 美喜子	地区代表
JA 信州うえだ滋野店店長	宮下 清行	活性化事務局
滋野地区社会教育指導員	土屋 裕司	生涯学習事務局

4. その他

次回会議、8月22日(水)で決定

5. 閉 会 (小菅補佐)